

抗酸素発生系複合体18kDaサブユニットモノクローナル抗体

調製

精製ホウレンソウ酸素発生系複合体18kDaサブユニットで、BALB/Cマウスを免疫した。マウス骨髄腫細胞と免疫マウスの脾細胞を、ポリエチレングリコールを用いて融合させ、HAT培地による選抜の後、抗体産生ハイブリドーマを確立した。無血清培地による培養を行い、培養上清中のイムノグロブリンを回収し、精製モノクローナル抗体とした。

品番

OF-114

ロット番号

POEa1-1

モノクローナル抗体の諸性状

1:イムノグロブリンタイプIgM

2:容量 50 μ g, 0.5mg/ml
(Bio-Rad, プロテインアッセイキットを用いて測定)

3:緩衝液 40%Glycerol 含有PBS

4:抗原との反応性

1)ELISA

酵素標識抗マウスイムノグロブリン抗体を用いて検定した結果、96wellアッセイプレートに吸着させた抗原に、本モノクローナル抗体は1000ng/mlの濃度で反応した。

保存

-20°C - +4°C。

頻回の凍結融解は力価を減少させる。